

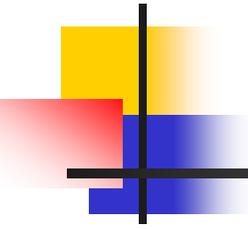
# 本研究会の進め方について

---

インターネットの円滑なIPv6移行に  
関する調査研究会  
事務局

## 議論の進め方

1. 本研究会では、「IPv4アドレスの枯渇」の可能性が指摘される中、我が国がこれに対し取るべき方策について、主に技術的立場からご議論いただきたい。
2. 今後インターネットが更なる発展を遂げるに際し、「IPv4のままでは対応できない」のであれば、その後継として開発されたIPv6への円滑な移行を検討することが必須。  
(より適切な方策があるのであれば、その選択肢は排除しない)
3. このため、本研究会では、次ページ以降に示す、3つのフェーズに分けて議論いただく事が考えられる。
4. また、各論点の詳細を検討するため、ワーキンググループを設置する事が必要ではないか。



# 第一フェーズ

## ■ IPv4アドレス枯渇時期予測フェーズ

以下の論点について議論。

1. 日本国内のIPv4アドレス在庫が枯渇するのはいつか。
2. IPv4アドレス在庫が枯渇した場合、どのような影響が発生するのか。

## 第二フェーズ

### ■ IPv4アドレス枯渇対応方策検討フェーズ 以下の論点について議論。

1. IPv4アドレスが枯渇対応にはどのような選択肢があるか。
2. 上記選択肢それぞれについての利点・欠点の整理。
3. 上記を踏まえ、取るべき対応方策は何か。
4. 方策推進に当たっての課題は何か。

# 第三フェーズ

- 対応方策実施上の課題解決策検討フェーズ  
以下の論点について議論。

## 1. 「対応方策実施上の課題解決策」

- ① 対応方策実施に当たっての課題について、その解決策は何か。
- ② 上記解決策それぞれについて、利点・欠点の整理。

## 2. 「アクションプラン」

- ① 議論全体を踏まえ、IPv4枯渇対応に向け、多様なプレイヤーがそれぞれとるべき行動は何か。
- ② IPv4枯渇対応で得る経験を我が国の国際競争力強化につなげるための方策は何か。

# スケジュール案

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
親 会 合	▲ 第一回		▲ 第二回			▲ 第三回		▲ 第四回	
		<b>第一次中間報告</b> ・IPv4アドレス枯渇 時期予測 ・IPv4アドレス枯渇 時の影響予測		<b>第二次中間報告</b> ・IPv4アドレス枯渇へ の対応方策 及び それらの利点・欠点 ・我が国として選ぶべき 対応方策 及び その推進に当たって の課題		<b>最終報告</b> ・左記課題の解決策 の検討 及びそれ ら利点・欠点 ・アドレス枯渇に向 け、政府の行うべ きアナウンス等の アクションプラン			
WG	▲   ▲   ▲ └──────────┘ 第一フェーズ		▲   ▲   ▲ └──────────┘ 第二フェーズ		▲   ▲   ▲ └──────────┘ 第三フェーズ及び 最終報告案検討			▲ ←→ ▲ パブコメ	<b>最終報告 案検討</b>